

## Vol.45 特集：JSPE を外部にアピールする

JSPE は、日本人でありながら米国 PE ライセンスを持ち、かつ機械、電気、土木、化学など異分野のエンジニアが交じり合っているという稀有な特性を持っている団体であるため、色々なテーマで講演して欲しいという依頼が年に数回到来する。平日に勤務先の休暇を取って出向く等の苦労もあるが、JSPE の存在を対外アピールする格好の機会であり、また自分たちの立ち位置を見つめ直す勉強ともなるため、現在まで下表に示すように、計 15 回ほどの対外講演を行ってきた(うち 3 回は JSPE 総会、JSPE Day)。

年月	講演先	講演名
2011 年 7 月	NSPE ラスベガス理事会	JSPE's Action Plan toward our Next Decade after March 11 disaster
2012 年 2 月	京都技術士会	米国 PE の虚像と実像
2012 年 6 月	JSPE 総会	日本人エンジニアのためのプロフェッショナル・エンジニア (PE) ハンドブック 発行紹介
2012 年 11 月	三菱重工神戸技術士会	韓国技術士会の国際化動向
2012 年 12 月	化学工学会関西支部	米国 PE から見た「科学者」と「技術者」の役割分担
2013 年 8 月	プロジェクトマネジメント学会中国支部	技術者はどこまでリスクマネジメントに関与すべきか
2013 年 12 月	八戸工業高等専門学校	米国 PE と技術士について
2014 年 9 月	JSPE Day	FE ハンドブックと Engineering BOK～分野をまたぐエンジニアのたしなみ～
2015 年 1 月	八戸工業高等専門学校	米国 FE 試験受験のススメ
2015 年 9 月	JSPE Day	葛藤する NSPE と JSPE の役割～NSPE 総会 6 度参加の総括～
2015 年 12 月	世界工学会議 (WECC2015) 京都	Unique CPD Program on Japanese Engineers catalyzed by US Engineering Licensure system
2015 年 2 月	グアム島 PE 協会	グアム島 Engineer Week セレモニー参加
2016 年 11 月	SAME 日本支部/沖縄	Status and Potential of JSPE
2017 年 6 月	蔵前技術士会 (東京工業大学 OB 技術士)	米国 PE ライセンスと FE 試験
2018 年 11 月	金沢工業大学	プロフェッショナル・エンジニアと技術者倫理

講演のテーマは、大きく (1) JSPE あるいは PE 制度の売り込み (2) PE と技術士との横通し提案 (3) FE 試験の価値強調 (4) その他 に分かれている。

#### (1) JSPE あるいは PE 制度の売り込み

2012 年 6 月の PE ハンドブック発行紹介、同年 12 月の化学工学会関西講演、2015 年 9 月の JSPE Day、同年 12 月の世界工学会議京都および 2016 年 11 月の SAME 沖縄において、JSPE 会員の多面的な能力を活かして様々な橋渡しが可能であるとのアピールを行った。

#### (2) PE と技術士との横通し提案

2012 年 2 月の京都技術士会、2013 年 12 月の八戸高および 2017 年 6 月の蔵前技術士会において、日本人 PE と技術士とが連携して社会貢献できないかという提案を行った。

#### (3) FE 試験の価値強調

2014 年 9 月の JSPE Day、2015 年 1 月の八戸高専および 2017 年 6 月の蔵前技術士会において、年々深化する FE 試験が単に PE ライセンスの一次試験であるというだけでなく、広くエンジニアの共通知識として有用であるということアピールした。

#### (4) その他

2012 年 11 月の勤務先内技術士会への講演では、韓国技術士会が米国 PE との相互認証を推進している動向を紹介した。また、2013 年 8 月の PM 学会中国支部への講演では、エンジニアが成功/失敗事例を規格などに落とし込むことがリスクマネジメント上の大きな貢献となるという仮説を紹介した。

この 10 年の対外交流を振り返ると、米国 NSPE の会合に行くと「お前たちは日本の技術士なんだろう」と言われ、日本の技術士会合に顔を出すと「米国 PE は日本の技術士とは違う」と言われ、双方へ「いやそうではなくて、われわれを橋渡しとして使って下さい」ということを言い続けてきたように思う。

どの講演も結論のない問題提起に終始している感もあるが、会員から要望の多い JSPE の独自企画出版が今後具体化するとすれば、企画の叩き台とできるかもしれないので、これら資料の会員ウェブサイト掲載を広報部会にお願いしている。

掲載がなかった際は、会員諸氏の批評を是非仰ぎたい。

(



2013年12月 八戸高専での米国PE制度紹介講義の様子



2018年11月 金沢工業大学におけるエシックス解説講義の様子

2019年3月21日 理事・会長 川村武也